

令和 4 年度 主な事業報告書

障害者支援施設北条育成園、短期入所事業北条育成園、相談支援事業所北条育成園、ホーム風早郷の事業報告については、各事業の運営・支援方針、利用者の利用状況、職員体制、職員会・ケース会議、職員研修、健康診断、災害訓練、行事、余暇活動等、事業計画に基づき事業を実施しました。

全事業において、新型コロナウイルスの感染予防に努めることを第 1 の目標としました。県・松山市からの注意喚起や指導に従い事業所内の BCP 計画に基づきステージを決定し感染予防に努めました。

令和 4 年度も、面会や外泊の中止や自粛をお願いしたため、ご家族様とご利用者様との交流の機会が激減しました。そのため入所系の事業については月に 1 回担当者から写真入りのお葉書をご家族様にお送りしました。また、管理者から施設内の現状やコロナ対策についてのお知らせの文書を毎月発送し、利用者様の状況や事業所内の感染対策をご家族様に詳細に伝わるようにさせていただきました。またあわせてオンライン面会も実施しております。

新型コロナウイルス陽性の有無においては、「障害者支援施設北条育成園」で、3 月にクラスターが発生し多くの感染者が出ました。(入所利用者様 52 名・在宅からの利用者様 2 名・グループホームからの利用者様 3 名・職員 9 名) 幸いにも施設内療養で完治することが出来ましたが、ご家族、各関係者に多大なご心配とご迷惑をおかけしました。また、共同生活援助事業「ホーム風早郷」で、8 月に 3 名、3 月に 3 名の感染者がありました。いずれも通所している「北条あかつきの郷」「北条育成園」の陽性者からの感染でした。2 回ともホームでの療養で完治することが出来ました。

苦情解決については、北条育成園で 2 件ありました。いずれも同じ利用者様からで、家族様への不満と友人への不満でした。2 件とも管理者・サービス管理責任者、担当者を交えた話をする事で納得され解決することが出来ました。短期入所事業北条育成園・相談支援事業所北条育成園・ホーム風早郷については 0 件でした。

事故報告については北条育成園が 5 件あり、ご利用者様が自ら転倒されケガをされた事例が 3 件・無届外出が 1 件・新型コロナ感染症クラスター発生が 1 件でした。3 件の転倒した利用者様は外科治療を行い完治しています。またホーム風早郷で 6 件あり、いずれも新型コロナ感染症(8 月に 3 名・3 月に 3 名) でした。短期入所事業北条育成園・相談支援事業所北条育成園での事故はありませんでした。

また、虐待の疑いについては北条育成園・短期入所事業北条育成園・ホーム風早郷・相談支援事業所北条育成園ともに 0 件でした。

令和 4 年度は、松山市による指導監査、実施監査が令和 5 年 2 月 2 日に行われました。北条育成園・短期入所事業北条育成園・相談支援事業所北条育成園・ホーム風早郷であり、全事業理事会への報告を伴う指摘事項はありませんでした。

た。今後も適切な運営を継続していきたいと思ひます。

多機能型事業所北条あかつきの郷事業報告については、事業計画、基本理念、運営方針に基づき実施しました。新型コロナウイルス感染症予防のため、安全を第一に考え、事業内容を一部変更しながら実施しました。制限のある活動でありましたがその中でもできる事を常に模索しながら新しい企画や発想がありました。また、保護者様との連携を密に取らせていただき体調面の把握に努め、職員においても「持ち込まない」を大原則として行動記録を求め予防に努めました。しかし、ご利用者6名、職員6名が感染され8月には、クラスター1件、サービス活動を1日休業しました。

苦情解決については、要望0件、リスクマネジメントについては事故報告5件（コロナ感染関係3件、ご利用者の怪我2件）、ヒヤリハット報告については5件でした。また、虐待の疑いについては0件でした。

松山市による指導監査、実施監査が令和5年2月2日に行われましたが、新型コロナウイルス感染時期であり時間短縮にて実施され、特に指摘事項なく終了しております。今後も適切な運営を継続していきたいと思ひます。

菊仙荘（特別養護老人ホーム、短期入所生活介護事業所、通所介護事業所、居宅介護支援事業所、ケアハウス）の事業報告については、各事業の運営方針、運営目標、運営概要、職員配置、サービス提供内容、提供サービスの質向上等、事業計画に基づき事業を実施しました。また国の進める労務改善の推進に基づき、人事・労務管理におけるストレスチェックを推進。新型コロナウイルス感染対策のため全国・県・市単位の研修会やその他外部研修等についてはオンライン開催のものへ参加、合わせてOJT（職場内研修）の実施により職員の資質向上に努めました。

特別養護老人ホームでは、看取り介護の充実に向けて医師・ご家族・多職種が連携し、常に寄り添う形でお客様をお見送りさせていただきました。地域交流においても、各種行事やイベントが中止となる中、地域清掃への参加、「介護の日」の作品展を実施し、地域における社会資源としての役割を担うことができました。

安全管理では行政報告対象（念のための受診を含む）の介護事故は15件（特養8・短期3・通所0・ケア4）、うち転倒による打撲4件・骨折5件（特養・ケア）・新型コロナウイルスクラスター発生1件・裂傷3件・バルーン抜去1件（特養）で速やかな対応を行いました。なお苦情対応、虐待疑いについては0件でした。

令和4年度は、ケアハウス菊仙荘において、東予地方局による指導監査が令和4年11月22日に行われましたが指摘事項はありませんでした。今後も適切な運営を継続していきたいと思ひます。

最後に、新型コロナウイルス陽性の有無については、「特別養護老人ホーム菊仙荘」及び「短期入所生活介護事業所」で8月にクラスターが発生（お客様39名（入院4名、施設内療養35名）・職員21名感染）しました。医療逼迫の時期であり、施設内で医療的ケア（吸引・在宅酸素等）を行いながら療養して

いただきました。法人内事業所からの職員の応援派遣もあり何とか終息、皆様回復されています。今後もご利用者様、お客様の感染予防および安全・安心な生活や活動ができるよう努力してまいります。

公益事業

該当なし

収益事業

該当なし